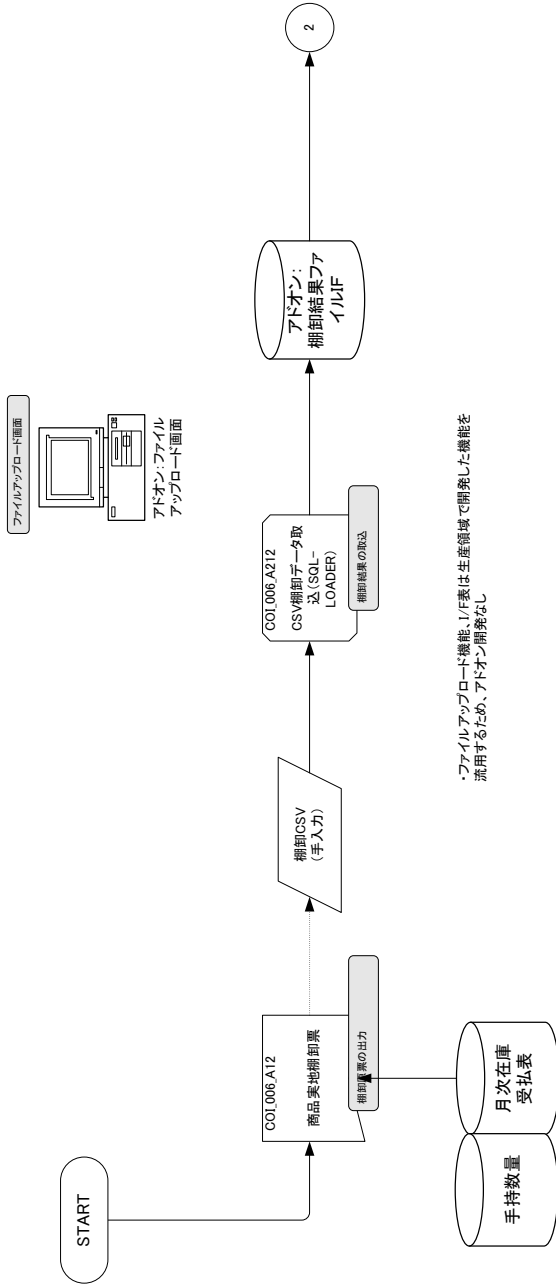


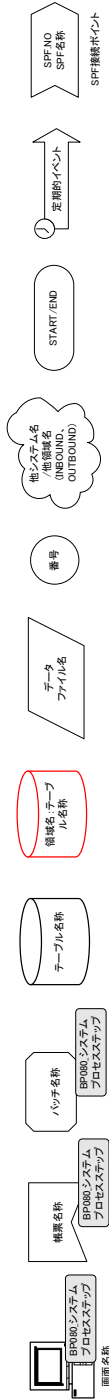


処理概要  
棚卸結果を取込、システム在庫と比較し受払表を出力する。また、在庫差異を棚卸減耗として受払データを作成する。入力方法は以下2パターン  
①商品実地棚卸票を出力し、クライアントで入力した棚卸結果をアップロードする方法  
②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法  
システム利用者  
拠点 営業担当者、拠点 管理者、専門店 店舗担当者、百貨店 店舗担当者、百貨店 管理者、専門店 管理者、棚卸 管理者、外部 倉庫担当者  
処理タイミングその他  
取込はHHT連携にて起動するパターンと、画面から手動起動するケースがあり。

システムプロセスフロー記入時の注意事項  
・機能単位(標準機能含む)で記入すること  
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること  
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること  
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること  
・I/Fファイル、システムプロセスフローとすること  
・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること  
・システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること

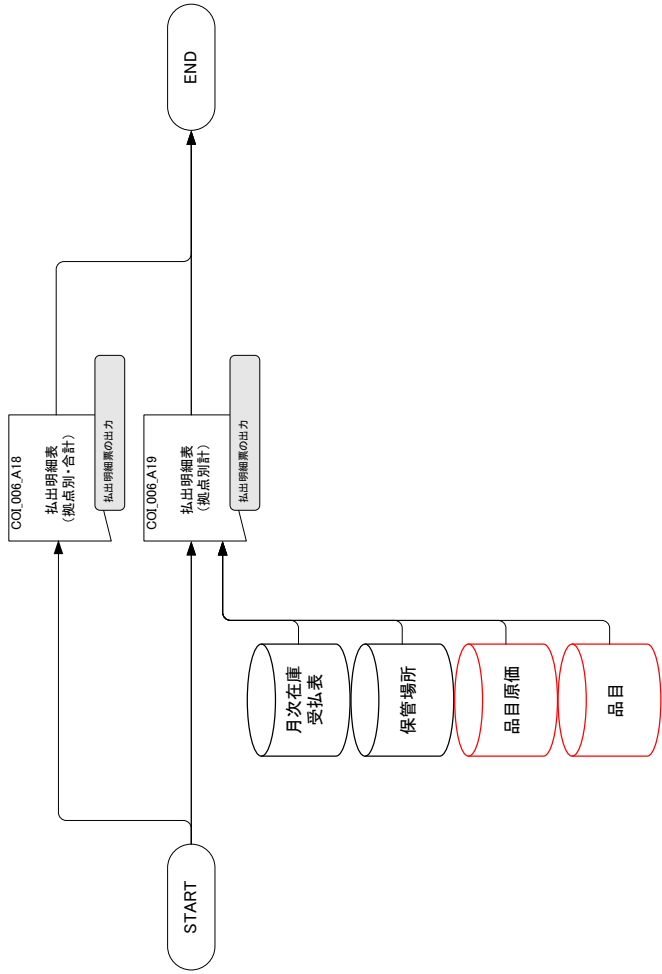


凡例:

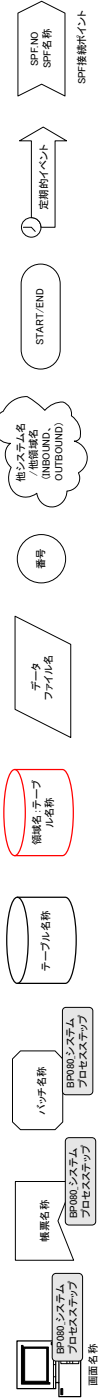


処理概要  
棚卸結果を取込、システム在庫と比較し受払表を出力する。また、在庫差異を棚卸減耗として受払データを作成する。入力方法は以下2パターン  
①商品受地棚卸票を出力し、クライアントで入力した棚卸結果をアップロードする方法  
②HHTで入力した棚卸結果をアップロードする方法  
システム利用者  
拠点 営業担当者、拠点 管理者、専門店 店舖担当者、専門店 店舖担当者、  
百貨店 管理者、専門店 管理者、棚卸 管理者、外部 倉庫担当者  
処理タイミング その他  
取込はHHT連携にて起動するパターンと、画面から手動起動するケースがあり。

システムプロセスフロー記入時の注意事項  
・機能単位（標準機能含む）で記入すること  
・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること  
・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること  
・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること  
・1ファイル、1システムプロセスフローとすること  
・フローが複数シートになる場合、(→①/①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること  
・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



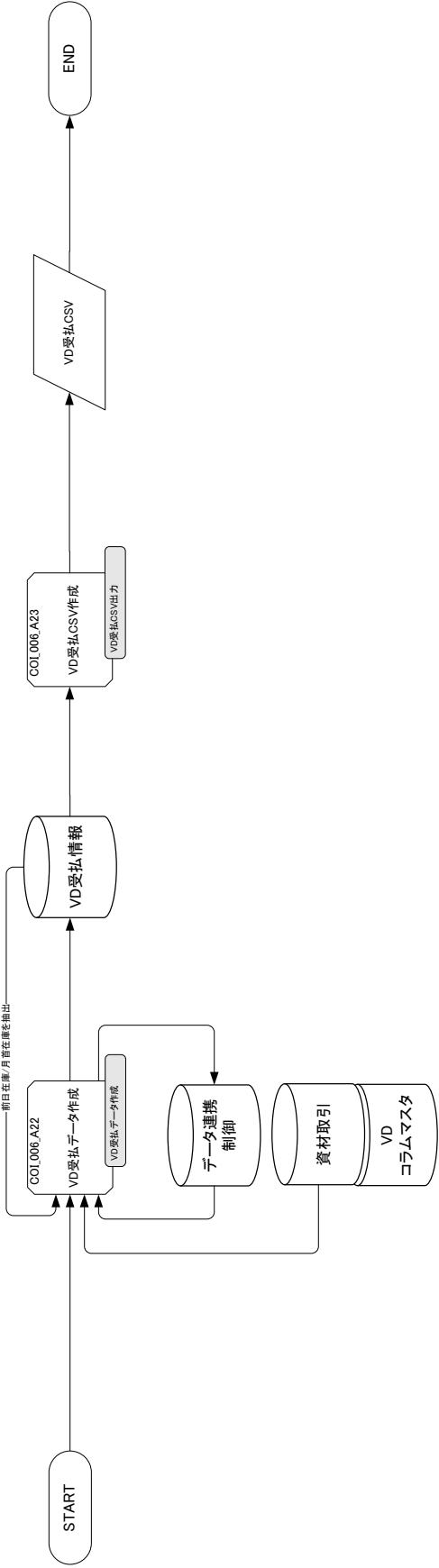
凡例:





処理概要  
VD取引データを取込、システム在庫と比較しVD受払表をCSV出力する。  
システム利用者  
商品部担当、財務経理部担当者  
処理タイミング、その他  
VD取引データの取込は日々行う。またVD受払表のCSV出力は在庫確定後に実施する。

- システムプロセッサ記入時の注意事項
- 機能単位（標準機能含む）で記入すること
  - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
  - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
  - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
  - 1ファイル、1システムプロセッサフローとすること
  - フローが複数シートになる場合、(→① / ①→) のように番号でフローの繋がりを明確にすること
  - 1システムプロセッサフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

